

Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter

2023-2024

「今こそ変わる勇気を！
さあ、一歩前へ」

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
網走西RC創立50周年記念式典	3
米山月間によせて	4
ポリオに関する活動について	5
高校生と協働でポリオ募金	6
米山奨学生レポート	7
公式訪問レポート	9
ハイライトよねやま	17
コーディネーターNEWS	19
新入会員の紹介	22
ロータリー財団寄付者報告	23
米山功労者報告	24
物故会員	24
例会出席率及び会員数推移	25



ガバナーメッセージ

2023-24年度

国際ロータリー第2500地区ガバナー

鶴見 誠一郎

(紋別港RC)

地区内すべての会員様へ尊敬の念を

国際ロータリー第2500地区、まもなく65すべてのクラブ様への公式訪問が終わろうとしています（2023年9月20日現在）。期間中、多くのクラブ会員様とお会いし、いろいろなお話をお聞きし、お伝えし、共有そして共感する時間を過ごさせていただきました。そのなかで、わたし自身、新たな心情を抱くようにもなりました。「今、考えなければならないこと」、「今、やらなければいけないこと」これらが頭にあることはもちろんですが、「自分が地区ガバナーであることの意義、次年度以降は地区ガバナー経験者として何を目標にし、また、どうあるべきなのか」自問自答の日々です。

わたしは、地区内クラブ会員様へ尊敬の念を抱いています。さまざまな経緯はあるものの皆さんが地域のロータリークラブへ入会し、奉仕について考え、悩み、金銭的にも時間的にも労力的にも支援しておられる。さらに、地元の人口が減っているなかで、クラブの活性化や存続を視野に入れ、会員維持、出席率向上、会員増強という壁に立ち向かう。

公式訪問では、ゴードンR.マッキナリー国際ロータリー会長や国際ロータリーの指針等の他、わたし自身の言葉を付け加えさせて頂きながら、

- ・ロータリーに関する地域の一部の方の負の先入観の払拭の必要性
- ・自分たちができる範囲内でありながらも、最大限の行動（アクション）を!!
- ・誰かのために何かを行うロータリーはもちろん、同時に、自分のため、自分たちのためのロータリーであってほしい

そうもお伝えしてまいりました。金持ちの道楽ではない、優雅で美味しいものばかり食べているわけでもない。真のロータリーをぜひ知ってほしい。大事なことは、

【ロータリアンが輝くように】

わたしたち自身が輝いてこそ、地域のため、世界のためのロータリアンです

【わたしたちの活動をより多くの人に知っていただく】

今、私たちが地域や世界で貢献していること、これらかも貢献し続けること

【地域を支える「すごい力」が集結していることの再認識】

奉仕の理想に集いし私たち、地域経済人など選ばれし者が集結し、大きな力がある

【地域住民がロータリーを体感】

行事やイベントでロータリーを理解頂くためのブースを設け、展示、来場者が体感

【一緒にやろう!! の想いを率直に伝える】

我々の理解者や仲間を増やすため、率直に気持ちを伝えることが大事

また、真面目だけれども楽しいクラブだと知ってほしい。会員の皆さん、ご家族の皆さん、ロータリーを楽しんでいますか？親睦と友情もぜひ並行して深めてください。

【多様な活動】

アウトドアイベント、パーティなど、多彩な組み込むで、会員が自分好み活動を

【創造的なアイデア】

会員の趣味や専門分野を活かしたユニークなイベントやプロジェクトを考案

【チームワークの強化】

ある課題を課し、ともに努力し、成功を分かち合い、絆を深める

【テーマや目標の設定】

掲げた目標に対し、具体的な成果の達成感を味わい、楽しさを高める

【ゲストや専門家の招聘】

新たな知識や情報共有、興味深い話題やスキルの習得を通じ、活動の楽しさを増強

【笑いとユーモア】

笑いとユーモアを取り入れ、楽しいひとときを共有

さて、地域の方々はロータリークラブへ次のような期待やニーズもあるようです。

【地域清掃】

地域住民と一緒に参加することで、共同体の結束を高める

【地域イベントのサポート】

地域の特色に合ったイベントのサポートを期待

【高齢者支援】

高齢者の話し相手として寄り添い、地域のつながりを強化

【地域の歴史・文化の保存】

地域の歴史や文化を保護し、後世に伝える活動を

【子ども支援】

子どもたちの成長を支えるための学習支援など

【大会の主催や協賛】

子供から成人に至るまでのスポーツ大会や行事の主催または協賛

【環境保護活動】

植樹活動や野鳥観察会の他、リサイクルに関することの伝授

【災害対策と防災教育】

実際の災害発生時に備え、災害対策のワークショップや防災訓練の実施

【フードバンクや寄付活動】

食品の提供や必要な物資を寄付する活動を行い、支援する

わたしたちが多くの機会や場所で、多くの人たちから必要とされていることに変わりはありません。

会員の皆さんが主役です。一緒に取り組んで参りましょう!!

網走西ロータリークラブ創立50周年記念を終えて

網走西ロータリークラブ 会長 倉 信一郎

1973年（昭和48年）8月25日第5分区内9番目のクラブとして誕生した網走西ロータリークラブは、創立50周年記念式典と祝賀会を令和5年8月5日網走セントラルホテルにおいて挙行いたしました。

前年度組織された実行委員会（横山秀嗣委員長）により、コロナ禍の終息が見据えられない状況の中で記念式典、祝賀会、記念事業が計画され、創立50周年の節目の記念ではありますが、華美盛大にこだわらず、クラブ創立から今日に至る50年の歴史を紡いでいただいた歴々の会員への敬意と謝意を表す催しといたしました。

記念式典では、第5分区ガバナー補佐河口高様、網走ロータリークラブ会長松尾富彦様よりご祝辞を賜り、スポンサークラブである網走ロータリークラブ様とクラブ名誉会員の皆様へ感謝状と記念品を贈呈し、第41代から第50代会長へそのご功績を讃えて表彰状の授与を行い

ました。

祝賀会においては、パストガバナー成瀬則之様に祝杯のご発声をいただき、会員提供による特大イバラガニと新鮮なホタテ、ウニ、網走ポークなど地元の味覚とゲームを楽しみどちらも厳粛且つ和やかに進行閉会いたしました。

また記念事業として実行した、網走市の青少年健全育成と来年秋に完成する新市庁舎で活用していただくための機器の贈呈は、決して内輪だけの記念にとどまらず、広く網走市民の皆様へ向けて網走西ロータリークラブに対する理解の深まりと公共イメージの向上につながる将に「クラブ創立50周年記念」の節目にふさわしい、意義のある大きな事業だったと思います。

網走西ロータリークラブは、創立50周年を期にこれからも「クラブ創立の精神」を大切に、「地域に希望」を生み出す存在である続けることを目指して参ります。



米山月間によせて

米山学友による第3回世界大会「再会in関東」

米山記念奨学運営委員会 委員長 石平清美

米山学友会による世界大会は2年に1度の懇親イベントです。第1回は「感謝in熊本」、第2回は「絆inモンゴル」、今年はコロナ収束後、第3回「再会in関東」です。筑波に、世界38ヶ国地域から、1,200名を超える米山学友・奨学生・ロータリアンが集いました。

つくば市は世界最大級のサイエンスシティであり、勉学目的で来日した米山学友たちが集うのに相応しく、また東日本大震災で被災したこの場所に、大勢が参集することで、地元貢献に繋がり、地域活性化につなげたいという地元米山学友たちの願いがありました。本大会では学友会の活性化を目指して米山学友会ポスター発表、キャリアデザイン支援を目的にビジネスポスター発表、さらに、世界のお土産を楽しめる米山フェスティバルなどの企画もありました。またデジタル化の流れに合わせてのQRコード読み取りによる情報確認機能を取り入れ、スマホ1台で「再会in関東」大会開催終了までの最新情報を随時確認できました。「再会in関東」主催の関東10地区米山学友会では、これを機に貧困の子どもたちへの教育支援を目的とした合

同チャリティー募金活動を実施しました。近隣米山学友会と連携した活動を通じて、学友同士の親睦もさらに深めることができた事も大きな成果でした。米山学友、米山奨学生、ロータリアンが「お帰り、ただいま、久しぶり」と笑顔で「再会」を喜び合い、交流の楽しいひと時を過ごしました。米山学友が輝く舞台、参加全員が楽しめる世界大会でありました。

2500地区からは奨学生、学友、パストガナー、ロータリアン、米山委員等が参加させて頂き、今は北海道外で活躍している奨学生も参加してくれ、久しぶりの再会を喜びました。

私は第2回「絆inモンゴル」参加し2500地区卒業の学友と交流が出来ました。

今回、北見西ロータリークラブの奨学生でしたモンゴル出身ソルトバさんが大会後、ホームカミングされ、北見、旭川、富良野と訪問しました。カウンセラーさんや世話クラブの皆さんとの再会は、まさに里帰りのようです。先輩たちが道標となり、奨学生たちも将来安心して活躍できる素晴らしい取組に感謝致します。



ポリオに関する活動について

滝上ロータリークラブ 幹事 阿部 慶太

滝上町において4年ぶりに開催された、「童話村たきのうえふるさとまつり」(8月12日～13日開催)、「濁川お祭りを楽しもう会」(9月9日～10日開催)に滝上ロータリークラブが社会奉仕活動の一環として子供向けブースに“ヨーヨー釣り”、“スーパーボールすくい”で出展し、多くのお子さんが来店し盛況のうち終了しました。尚、この収益金については、全額ポリオ撲滅基金に寄付することと致しました。

THE ROTARY CLUB TAKINOUE

滝上町の玄関口交差点草刈り奉仕活動を行いました。



草刈りにより見通しが良くなり、スッキリした旭町交差点



草刈りには眞貝林工のご協力を頂きました。有難うございます。



2023年7月20日(木)

安全運転を呼びかけ

滝上ロータリークラブ

道の駅で街頭啓発を実施

滝上ロータリークラブ(米谷敏子会長、15人)は19日、道の駅の車たきのうえで交通安全の街頭啓発を行い、立ち寄りたドライブに安全運転を呼びかけた。

「ストップ・ザ・交通事故」を車場に誘導し、米谷会長らが安全な交通安全運動(15分)を掲げながら、特産品のミニトウモロコシの一年中販売のミニトウモロコシを手にした。駐車してある車の車利用にも啓発を行った。

この日は会館と警察官、役場職員、同クラブは同日、市街地周辺の73号を上川方面に向かう車を駐草刈りの奉仕活動を行った。



ドライブに安全運転を呼びかけ米谷会長



高校生と協働でポリオ募金

清里ロータリークラブ 会長 若松 顕 仁

2023年9月3日(日)に清里ロータリークラブ社会奉仕活動として「ポリオ根絶のための募金活動」を実施しました。この活動は、清里町の「ふるさと産業まつり」に参加して、来場された町内外の方にポリオプラス活動を啓蒙し、募金を呼びかけるもので、清里ロータリークラブの伝統行事でもあります。4年ぶりの「清里ふるさと産業まつり」は、天候にも恵まれ、過去最大の出店数と来場者を数え、大いに盛り上がりました。小さいお子さんからお年寄りまで、多くの方にブースに立ち寄っていただきました。

また今年初めて、地元の北海道清里高等学校

に協力をお願いしたところ、ボランティア同好会である「ユネスコ部」の生徒さんと顧問教諭が駆けつけ、募金活動に加わってくださいました。やはりオジサン会員の声掛けより、高校生効果なのか、例年以上の募金が集まりました。

地元高校生との協働は、鶴見ガバナーの地区方針「新たなことに挑戦しましょう」に大きなサジェスチョンをいただき、今年度クラブの活動の目玉のひとつとして企画したものです。今後も高校生と共に地域のための奉仕活動を推進し、ゆくゆくはインターアクト、ローターアクト設立につなげていけたら、と考えています。



米山奨学生レポート

Home country: Kenya

Ngigi Noel Muthoni Mumbi

北海道での生活

日本最北の島である北海道は、息をのむような美しい自然、豊かな文化的伝統、そして独特の生活様式を持つ場所である。私は幸運にも、北海道の穏やかな風景、温かいもてなし、美味しい食べ物を体験することができた。このエッセイでは、広大な農地、なだらかな丘陵地帯、風光明媚な景色など、美しい自然景観に囲まれ、自然と文化の調和が深い北海道の美しい町、帯広での私の生活体験と観察について掘り下げる。

私の国は赤道に近く、平均気温は20度から28度である。そのため、本当の夏や冬を経験することはない。この国では、四季折々の美しさを体験することができる。冬はパウダースノーのワンダーランドで、スキーやスノーボードのパラダイスだ。寒さにもかかわらず、私たち家族は雪遊びで美しい思い出を作ってきた。子供たちは公園でスケートを楽しんだり、雪の上を滑ったりしている。春には桜が咲き乱れ、景色を繊細なピンク色に染める。夏はあちこちの公園を散策する季節だ。今年の夏は焼け付くような日差しだったが、私は家族と水遊びを楽しみ、数々のお祭りや野外バーベキューを楽しんだ。この季節に見る花火は息をのむほど美しく、見ごたえがある。秋は風が強いが、鮮やかな紅葉が見られる。町中を車で走り回り、農家の人たちが家畜のためにサイレージの保存に勤しんでいるのを見ると、人間や動物たちまでもが先を見越した計画を立てていることに驚かされる。街の中心を優雅に蛇行する十勝川は、生命を育む自然の力を感じさせてくれる。

北海道の人々の豊かな歴史を学び、さまざまな料理に触れることは、とても楽しいことだっ

た。帯広で提供される料理、特に野菜と豚肉が大好きだ。たまにラーメン屋を訪れ、濃厚なラーメンのスープに舌鼓を打つ。昨年とはかちマルシェに参加し、からあげをたくさん食べた。博物館を訪れ、アイヌ民族について学ぶのも刺激的だ。昔の写真や農具、人々の暮らしぶりを見て、農業の歴史や文化保存の大切さを学んだ。周囲の人々の礼儀正しさと調和には目を見張るものがある。社会的な尊重が強調されていることは、調和と一体感を維持するために私が果たすべき役割を常に思い出させてくれる。

帯広の真の特徴は、住民の温かさとホスピタリティにある。この街の人たちは、訪れる人々を地域の一員であるかのように感じさせるユニークな方法を持っている。活気あるファーマーズ・マーケットでは、地元の生産者たちが自慢の農産物や物語を観光客に披露している。茶道であれ書道ワークショップであれ、自分たちの文化を分かち合おうとする意欲は、他者と深いレベルでつながろうとする地元の人々の純粋な願いを示している。そのお返しに、私と私の家族はこのコミュニティで歓迎されていると感じることができた。そのおかげで私たちは安心して勉強することができる。

私の日課は、子供たちを学校に連れて行き、その後大学に行くことだ。今年は講義やレポート作成が多く、本当に忙しかった。それにもかかわらず、食品保存、人獣共通感染症、動物管理の実践など、多くの新しいことを学ぶ機会に恵まれた。また、プレゼンテーションや研究室での直接の交流を通して、仲間から多くのことを学びました。

現在、私はパラグアイの牛の中から選ばれたサンプル数の牛アナプラズマ症とテイレリア症

をスクリーニングする研究に取り組んでいます。これらの病気は牛にとって厄介なもので、牛群の健康に影響を及ぼします。牛アナプラズマ症は、アナプラズマと呼ばれる小さな生物が牛の赤血球に侵入することで発症する。これが貧血を引き起こし、牛を衰弱させ、疲れさせます。一方、牛テイレリア症はテイレリアによって引き起こされます。これらの寄生虫も赤血球を攻撃し、牛に発熱と衰弱を引き起こします。私の研究は、分子検査を行い、原因となる病原体が国内に存在するかどうかを調べることを目的としている。その結果は、病気のコントロー

ルや管理に役立つだろう。

帯広での家庭生活、学生生活、社会生活を楽しんでいます。言葉を少しずつ学んでいます。すべてを理解することはできないかもしれませんが、人々が親切にしてくれることに感謝しています。文化、極端な天候、おいしい食べ物、そして何よりも温泉に行くこと、特にサウナとその後の凍えるような冷たい風呂を楽しんでいることに感謝しています。

奨学金を与えてくださったロータリーの皆さんのおかげで私は、安心して勉学に励むことができます。心から感謝しています。



昨年の桜



夏を楽しむ家族



然別湖



書道大会での日本語の先生



実験室勤務



平原祭りで浴衣を着ました

公式訪問レポート

第8分区 別海ロータリークラブ

会長 山口 長伸 幹事 山下 毅

訪問日 7月26日

クラブ自慢

牛の数 12万頭日本一 ミルク生産日本一 ジョッキでミルク飲ます町 キャッチフレーズ「べつせかい」 海産物も自慢品 北海縞海老野付湾 ジャンボ帆立のバーガーはご当地グルメ三連覇 全国一の称号で 殿堂入りし鼻高く ロータリー杯スケートは 42回歴史経て 五輪選手を4人出し その先駆けは【弁慶】の異名ガバナー補佐のこと 楠瀬功本人が 七つ道具を振り回し 鶴見ガバナー方針の「行動するに意味がある」 分区に伝え駆け走り 「世界に希望」 戯れ歌綴り

(会長：山口 長伸)



第8分区別海ロータリークラブ



ああ暑い 33度真夏日に 熱い男が現れた その名は鶴見誠一郎 「今こそ変わる勇気を」と 「さあ一歩前」 踏み出せと 「行動するに意味がある」 RIの声伝承し 地区の改革改善を 目指すガバナー別海のことを予習し立て板に 水の如くの方説は我等全員ひれ伏して その通りだと納得し 弱小クラブでもやる気 ムラムラと湧き明日からのモチベーションも跳ね上がり 公式訪問成功を 祝い晩酌北の勝 呑めばガバナー顔浮かび 感謝・敬意の戯れ歌綴り

(会長：山口 長伸)

第8分区 中標津ロータリークラブ

会長 日野澤 譲 幹事 林 武陽

訪問日 7月26日

クラブ自慢

- ・ 養老牛温泉ホテル大一 温泉もさることながら人里から離れた山の中でゆっくりと流れる時間を楽しむことができます。
- ・ 開陽台 視界330°(後ろに武佐岳がる為360°では無い) 晴れていれば国後島が見えます。はちみつソフトが評判
- ・ 炭火焼肉金龍 ホルモンがおいしいお店。内臓系以外も和牛などもおすすめ。
- ・ NIWA Bar おしゃれで大人な空間のBARです。隣接する焼肉 Dining肉庭で食事した後でお酒を楽しむのも良さ。
- ・ むらかみうどん おいしいうどん専門店です。天ぷらも好評です。
- ・ 大和殿 中華料理店です。何を食べてもおいしいしとんかつもおススメ(笑)
- ・ スナックツバキ 中標津の夜を楽しむならココ!(笑)

(会長：日野澤 譲)



中標津ロータリークラブ 7月第3例会



まずは鶴見ガバナーそして山本副幹事におかれましては中標津の地にお越しいただきありがとうございました。

短い時間ではありましたが有意義な時間を過ごせたと感じています。少なくとも鶴見ガバナーのイメージは想像よりも遥かに誠実で(笑)堅実で熱意のあることが理解できたのが今回の公式訪問での一番の成果と感じています。

会長幹事懇談会と意見交換会では地区やガバナーの考えていたことを聞かせて頂き、今後のことも含めて参考になるお話を頂きました。また、会員増強については中標津RCに言うことは無いとお墨付きまでいただき光栄に思います。

今回の経験を今後活かしながら地区や分区と連携を図り良いクラブ運営を進め、ロータリークラブの地位向上と会員の品格と資質の向上を模索し活動を行っていこうと考えています。

(会長：日野澤 譲)

公式訪問レポート

第8分区 弟子屈ロータリークラブ

会長 小澤 慎司 幹事 望月 信雄

訪問日 7月28日

クラブ自慢

わが町弟子屈町は、観光や農業などが盛んであります。観光では、摩周湖や屈斜路湖と湖も2つあり硫黄山などの名所もあり温泉も最高です。最近では、地場産のそば粉を使った摩周そばが人気がありますので、お土産にいかがでしょうか。また季節限定で摩周メロンやマンゴー、地場産の野菜なども人気があります。さらには地場産牛乳を使ったアイスやジェラートも人気がありますので是非ご情味頂ければと思います。いずれも『ましゅう温泉道の駅』にて購入できますのでお立ち寄りいただければと思います。(会長：小澤 慎司)



7月28日に鶴見ガバナー公式訪問が行われました。会長・幹事の意見交換では、現在の当クラブの課題やこれからの事についてお話をさせて頂きました。その後全体の意見交換でもやはり会長幹事の意見交換の時と同様に会員増強についてや会員の高齢化によるこれからの事についての意見が出ておりました。小さい町で勧誘できる方もかぎられており、またコロナ化による不況により追い打ちをかけるように勧誘がしづらくなっているなどの意見がでておりました。67年の歴史をもつ当会も全盛期には50人の会員がおりましたが今では17人と約3分の1となっており、新入会員の獲得にはかなり苦戦しているところでございます。

また例会時は、ガバナーのお話を頂戴しましたがロータリーについてだけではなく当クラブの地域の特性についての今後の社会奉仕の考え方やキーワードを頂き今後の参考になるお言葉を頂きました。小さなクラブでも今後も頑張っていきたいと思っております。(会長：小澤 慎司)

第6分区 帯広南ロータリークラブ

会長 進藤 直哉 幹事 佐伯 大輔

訪問日 7月31日

クラブ自慢

帯広は、壮大な景観に恵まれた土地で、農業を中心とした産業基盤の街であります。豚丼、スイーツをはじめとする食文化も盛んで、全国でも有名な店舗が数多く存在しております。中心部には、北の屋台という場所があり、夏場は店舗の内外でも飲食をすることができ、中心部の活性化になっております。(幹事：佐伯 大輔)



会長幹事懇談会では、活動内容の確認や、クラブの不明点について、鶴見ガバナーより質問がありました。

意見交換会は、前段に、鶴見ガバナーと当クラブの松田会員による対談形式で、幼少期のお話や、鶴見ガバナーの想いを引き出してから、昭和49年生まれ以降の当クラブ会員を交えて行いました。

通常では聞けないお話もあり、当クラブの若手会員の士気があがりました。

例会では、今年度の活動方針について、鶴見ガバナーより講話を頂きました。ありがとうございました。

(幹事：佐伯 大輔)

公式訪問レポート

第6分区 広尾ロータリークラブ

会長 二口 繁 幹事 堀田 真

訪問日 8月1日

クラブ自慢

広尾町は十勝最南端に位置する港町です。日本唯一のサンタランドに認定され、10月末の点灯式では街が一斉に美しいイルミネーションに包まれます。青い海、フンベの滝、景色も楽しめますが、豊かな海が育んだ新鮮で豊富な海産物も楽しめます。海上花火大会、毛がに祭では地元ならではの屋台グルメにも定評があります。やまもとセンターでは豊富な品揃えの珍味や加工品が販売されており、お土産や贈り物としても喜ばれています。広尾の味覚を多くの方にご賞味頂けたらと思います。

機会があれば是非皆様お越し下さい。(幹事：堀田 真)



先日開催されましたガバナー公式訪問に、鶴見ガバナー様、田中ガバナー補佐様、館岡地区副幹事様にご来訪いただき、とても有意義な時間を一緒にさせて頂きました。誠にありがとうございました。当クラブは1962年に設立し、現在20名が在籍しております。我が広尾RCといえば『日勝少年野球大会』と言っても過言はない奉仕活動に注力しています。コロナ禍で4年ぶり、今回で第45回目の歴史ある大会の開催となりました。広尾町野球協会や広尾町・広尾町教育委員会など各方面に協力を得、開催して参りましたが、協会も人員不足、招待する少年野球チームも減少しているのが現状です。RCも同様に会員減は当クラブのみならず社会の問題と捉え知恵を絞るところに来ているようです。

(幹事：堀田 真)

第6分区 上士幌ロータリークラブ

会長 長屋 光男 幹事 小島 徹

訪問日 8月2日

クラブ自慢

上士幌では、8月10日～13日に第50回北海道バルーンフェスティバルが開催されました。1974年に第一回となる熱気球フェスティバルが開催されてから、半世紀、上士幌は熱気球の町として知られるようになりました。2020年にオープンした道の駅かみしほろでは、係留フライトのイベントが行われることがありますから、気球に乗ってみたい方はぜひ体験していただきたいと思っております。ちなみに、これを書いている私は高いところは苦手です。平気な方にお勧めしまへす。

(幹事：小島 徹)



今年度ガバナー公式訪問は8月2日に行われました。例年と違う点は、意見交換会の開催でした。当初、ある話題についてガバナー、ガバナー補佐、クラブ員で意見を交わしながら、それぞれの認識を深めていくようなものをイメージしており、それ故、クラブ員からも意見が出そうなことを考えて話題としたのですが、なかなか思ったようなものとはならず、結果、ガバナーへの質問会のようなになってしまいました。次年度以降についても同様の運用となると聞いており、この反省を今後活かしていきたいと考えております。

(幹事：小島 徹)

公式訪問レポート

第6分区 足寄ロータリークラブ

会長 家常 尚詞 幹事 仙石 聡

訪問日 8月2日

クラブ自慢

阿寒摩周国立公園の南西部に位置する神秘的湖「オンネトー」を西へ下ると足寄市街地になります。林業と酪農が盛んで広大な山に囲まれた寒暖の差が激しい町です。今年の夏の最高気温は36.4度を記録しました。

北海道遺産の「ラワンぶき」は町の特産品です。道の駅あしよろでは漬物や加工品が人気で、ラワンぶきソフトクリームもおすすめです。

足寄動物化石博物館は太古の海生哺乳類の化石が数多く展示されており、全身の骨が見つかった大型化石は道の天然記念物に指定されています。

皆様是非、足寄町にお越しください。(会長：家常 尚詞)



鶴見誠一郎ガバナーの公式訪問が8月2日に開催されました。クラブの現状や奉仕活動の内容について率直な情報交換ができました。

足寄町の現状に即した地域貢献の方策、クラブを元気に盛り上げる15ヶ条の説明をいただき、有意義な公式訪問となりました。

足寄ロータリークラブは現在29名で活動しています。奉仕活動として新入学児童へのプレゼント、園児へのクリスマスプレゼント、ラワンぶき即売会で得た収益金の寄付事業など、今後もできる限りの地域貢献に努めていきます。

(幹事：仙石 聡)

第6分区 帯広西ロータリークラブ

会長 天野 清一 幹事 立崎 貴之

訪問日 8月3日

クラブ自慢

グルメ インデアンカレー (ソールフード)
豚丼 (ソールフード)
中華ちらし (ソールフード)

土産 六花亭、柳月

世界に一つだけのばんえい競馬

(幹事：立崎 貴之)



ガバナー会長・幹事会、意見交換会とクラブの特徴、強みなどしっかりとPRすることができたと感じます。

クラブの特徴/同好会等を通して日頃より、クラブ会員の懇親が強い。強み/他のクラブとは比較できませんが人材が豊富だと感じます。

又、意見交換会ではガバナーの思うところであったり、ロータリー愛を知ることができたのではないかと思います。

(幹事：立崎 貴之)

公式訪問レポート

第6分区 帯広北ロータリークラブ

会長 石岡 幸雄 幹事 南出 雅樹

訪問日 8月4日

公式訪問

鶴見ガバナーにおかれましては当クラブに公式訪問頂きありがとうございました。
 日程の都合により理事会を見て頂き、その後のガバナー意見交換会の運びとなり変則的な流れになってしまいました事誠に申し訳ございませんでした。しかし、クラブ理事会を見て頂いたことは当クラブでどのような内容の例会が行われているのか、問題解決についてどのように話合せているのか見て頂く良い結果に終わったと思っております。
 当クラブで行っております大谷高校のインターアクトについても、高校に出向いて頂き、高校生と意見交換会をして頂いた事は高校生にとって目を輝かせていた生徒に良い刺激と夢を与えられたと思います。公式訪問ありがとうございました。

(幹事：南出 雅樹)



第2分区 士別ロータリークラブ

会長 菊地 昭通 幹事 福島 和秀

訪問日 8月7日

クラブ自慢

士別市は農業を基幹産業として水稲を中心に、畑作・野菜・酪農・畜産と幅広く行っています。
 スポーツ合宿の里として、オリンピック金メダリストや実業団、学生などの選手・チームの受け入れ、近年はドイツなど海外チームの合宿地にも選出されています。第36回サフォークランド士別ハーフマラソン大会、ウエイトリフティングでは36年ぶりのインターハイが開催しました。観光では、士別の街を一望できる焚火キャンプ場士別ペコーラでは多くのキャンプ客が訪れ、士別産のラムチョップなどを食べることができます。

(幹事：福島 和秀)



士別ロータリークラブは、交通安全活動の参画・スポーツ少年団への助成・高校ボランティア活動への支援協力・図書館のロータリー文庫の充実事業などは継続して行っています。

公式訪問での、鶴見ガバナーと「会員の拡大」などに関しての意見交換を通して、これから新しい友を内外に作り新しい意見を聞き、共に学び新たな気持ちで例会を充実させ友情の親睦を深め楽しい例会・充実したロータリー活動をメンバーの皆さんと共に笑顔を大切に一年間、楽しく活動して参ります。

(幹事：福島 和秀)



公式訪問レポート

第2分区 中頓別ロータリークラブ

会長 櫻田 守 幹事 長谷川克弘

訪問日 8月8日

クラブ自慢

かつて、東洋のクロンダイクと呼ばれるほど砂金が産出され、町の体をなしたときいております。未だにペーチャン川には砂金掘り体験場が整備されており、天然の砂金が初心者でも、採ることができます。

また、北海道天然記念物にも指定されている中頓別鍾乳洞もあり、太古からの大地の成り立ちを感じることができます。

最近では、まさに新しいカフェや飲食店もでき町の楽しみ方がふえた自然に囲まれた空気のおいしいまちです。

是非お越しください。 (幹事：長谷川克弘)



北緯45度に位置する人口1500人ほどの自然豊かな中頓別町のロータリークラブです。

現在、会員12名と少数となってしまいましたが会員のみならず家族ぐるみで和気藹々で活動しています。

現在、わが町では、幼小中一貫中頓別学園設立に向けて、設計段階であり子供のみならず町民すべての世代で活用できる総合施設を建設する計画が進んでおり、我がクラブとしても新たな町のランドマークとして希望を持って支援していきます。

(幹事：長谷川克弘)



第2分区 名寄ロータリークラブ

会長 藤田 健慈 幹事 湯川 孝一

訪問日 8月8日

公式訪問

2023年8月8日(火)18:00から鶴見誠一郎ガバナー公式訪問が名寄RC例会会場のグラントホテル藤花にて開催されました。公式訪問に先立ち、会長・幹事懇談会では、資料室をご覧いただきました。引き続き、今年から始まった意見交換会では、入会5年未満の会員を中心に参加者を限定し、RCの活動に関する疑問質問に丁寧にお答えいただき参加者の理解が深まりました。公式訪問冒頭には、新入会員の佐々木徳暁会員へ鶴見ガバナーから直接、バッジの授与をしていただきました。

鶴見ガバナー、第2分区園部ガバナー補佐、河野地区副幹事、ご来名いただきありがとうございます。

(幹事：湯川 孝一)



公式訪問レポート

第2分区 枝幸ロータリークラブ

会長 佐藤 秀之 幹事 阿野 洋志

訪問日 8月9日

クラブ自慢

枝幸町はご存じのとおり、毛ガニの水揚量が多く日本一の毛ガニの町とも言われています。枝幸町の毛ガニの特徴は、味のうまみとコクが強いこととされています。この毛ガニを多くの方に味わっていただくため、これまで枝幸かにまつりが開催されていました。ただ、新型コロナウイルス流行のため令和2年から令和4年まで開催ができませんでした。

しかし、今年は新型コロナウイルスの流行が落ち着いたことから4年ぶりにかにまつりが開催され、主催者発表によれば、2万8千人の来場者があったとのこと。

このように、年に一度ではありますが、町を挙げてこのような大きなイベントを開催できる関係諸機関の連帯こそが、枝幸町の自慢です。

(幹事：阿野 洋志)



令和5年8月9日、枝幸町コミュニティセンターに鶴見誠一郎ガバナーの公式訪問していただきました。

当クラブでは公式訪問に合わせてクラブの例会を開催し、鶴見ガバナーに講演をいただきました。講演では、会員維持と会員の増強、枝幸のニーズに合わせた地域奉仕の例を具体的にお話しいただき、今後の活動に大変参考となりました。

また、園部一正ガバナー補佐からも美深ロータリークラブでの例会の方法などを教えていただき、会員が楽しめる例会を開催することが、会員の維持及び増強につながるということを改めて実感しました。

当クラブでは、以前から会員数及び女性会員の増加が課題となっておりました。今後は、講演で学んだことを生かして、女性会員の勧誘など会員の増強に努めて参ります。

公式訪問にて鶴見ガバナーからご提案いただいた地域奉仕の方法を検討し、楽しいと思えるクラブづくりを進め、会員が楽しみながら地域奉仕活動を行い、それが新たな会員の獲得につながるような良い循環を目標に活動して参りたいと考えています。

(幹事：阿野 洋志)

第4分区 遠軽ロータリークラブ

会長 高橋 義昭 幹事 大西 孝拡

訪問日 8月17日

クラブ自慢

2023年6月に我が町が所蔵しております北海道白滝遺跡群出土品が我が国で最も古い時代の国宝に指定されました。

遠軽町は旭川紋別自動車道の3つのICが存在します、白滝ICではジオパーク交流センターで学び、丸瀬布ICでは森林公園いこいの森で癒され、遠軽ICではスキー場併設の道の駅で体験し、さらにJR遠軽駅に隣接された芸術文化交流プラザメトロプラザで遠軽高校吹奏楽局の迫力の遠高サウンドを楽しむ。

緑(えん)が溢れる町へ皆さまお越し下さい。

(幹事：大西 孝拡)



鶴見誠一郎ガバナーを始めとしたご来訪の皆様には、公式訪問での対面で時を共有させていただき貴重なご助言をいただきまして、誠にありがとうございました。

鶴見ガバナーからは、年次基金及びポリオプラスの目標について、青少年事業等での社会変化によるメンバーの意識変化の必要性などご説明いただき、意見交換会では地区事業の運営方針、他クラブの新入会者推進など有意義な意見交換会となりました。

近年は新入会員も増えており、人を惹きつける賑わいがあるクラブ活動を行いたいと考えております。

(幹事：大西 孝拡)

公式訪問レポート

第4分区 雄武ロータリークラブ

会長 橋詰 啓史 幹事 松山 俊彦

訪問日 8月18日

クラブ自慢

雄武町は、漁業と農業を中心に水産加工業も盛んな町です。冬の流水によって運ばれる豊富なプランクトンの恩恵でオホーツク海は実に豊かな海で、雄武の前浜で獲れる鮭は「雄宝」のブランドであり、他にも毛蟹やウニ、ミズダコや昆布なども雄武町産はひととき人気があります。海産物以外にも、韃靼そばやアングス牛などの特産品も豊富にあり、これらを味わうことが出来るイベントも数多く開催されております。

また、オホーツク海を一望できる日の出岬では、オホーツク海から昇る朝日が絶景です。岬周辺には、温泉を完備した全室オーシャンビューの「ホテル日の出岬」がありますので、皆様是非一度お越し下さい。

(幹事：松山 俊彦)



8月18日のガバナー公式訪問の際に行われた鶴見ガバナーとの意見交換では、今後のRCの取組み方や会員増強に向けての参考意見を数多くいただくことができましたこと、大変感謝申し上げます。

雄武RCは、昭和39年10月に設立し、59年の歴史と伝統を持つクラブです。

現在、会員14名（名誉会員1名）で活動しておりますが、本年6月に行われた第4分区のIMでは、ホストクラブとして少人数会員でも深く繋がった団結力でIMを無事に終了させることができたことや、7月には交通安全活動の取組みが高く評価され町から感謝状を頂くなど、地域との連携を大切にした奉仕活動に積極的に参加しております。

まもなく迎える60周年に向け、会員増強はもちろん地域への関わりを持った奉仕活動を今後も続けて参ります。

(幹事：松山 俊彦)



第2分区 美深ロータリークラブ

会長 石田 政充 幹事 齊藤 宏行

訪問日 8月25日

クラブ自慢

函岳360度パノラマで、天候が良ければオホーツク海や利尻富士も見えます。トロッコ王国美深、日本一の赤字線美幸線の線路を利用し、毎年一万人の人が乗車します。

同じ仁宇布地区にある松山湿原は北海道自然環境保全地域で、日本重要湿地の500に数えられています。又、仁宇布の冷水と十六滝も有名です。

以前からチョウザメの飼育をしていて数年前からキャビアの販売もしています。

(幹事：齊藤 宏行)



美深ロータリークラブは1964年2月12日に名寄ロータリークラブをホストクラブとして（地区31番目・道内54番目）創立いたしました。2024年には創立60周年を迎えすでに実行委員会を立ち上げております。

我がクラブの特色は、なんといっても夜間例会で手作りの例会で、湯豆腐・お好み焼き・すき焼きなどその時々によって異なりますが、和気あいあいと親睦図っております。

地元美深高校の模擬面接・児童養護施設育成園を迎えてのクリスマス会など毎年行っております。

(幹事：齊藤 宏行)





1. 理事会と評議員会を開催

8月22日に第40回理事会を都内会議室にて開催しました。当日は、全国から30人の理事、3人の監事、計33人の出席となりました。若林紀男理事長が議長として進行役を務め、第1号～第10号の全ての議案につき、原案通り承認可決されました。



第40回理事会の主な議案は、「評議員候補者」「理事後任候補者」「定款変更」「2022年度事業報告」「2022年度計算書類」「2023年度収支予算書一部修正」「2023年度専門委員選任」の件、などでした。

また、9月7日には第15回定時評議員会を開催しました。今回の定時評議員会は台風接近の

影響を懸念し、ハイブリッド形式で開催されました。全国から評議員25人（うち4人がオンライン）、役職理事6人と監事3人が出席しました。定款により、評議員会の議長は、出席評議員の中から選ばれることになっており、第2750地区の猿渡昌盛評議員が議長に選出されました。

猿渡議長の進行で、報告事項として、①理事会決議報告 ②職務執行の状況報告 ③2022年度事業報告が資料に基づき説明され、続いて理事会から上程された「評議員の選任」「後任理事の選任」「定款変更」「2022年度計算書類承認」など7議案が諮られ、全て原案通り承認可決されました。また、評議員会終了後、4年の任期を終える評議員に、若林理事長から感謝状が贈呈されました。



2. 学友の力を母国に還元 「教育プログラム」開催

8月26日、マレーシア米山学友会の主催で、第1回「MRYA（マレーシア米山学友会）教育プログラム」がオンラインで開催されました。このプログラムは、同学友会会員の個々の知識や技術を社会に還元していくこと、受講者に社会貢献への意識を高めてもらうことを目的としています。

今回は「日本語をボランティアで教える人材育成」をテーマに、日本の総合商社で18年勤務し、10年以上にわたってマレーシアの学生に日本語をボランティアで教えている経験豊富なチンワエンサンさん(1994-96/東京国分寺RC)



オンライン授業を終えて記念撮影

が講師を担当。参加した20人の受講者に向けて、「どのように学生の興味を惹くか」「どのように学習意欲を引き出すか」「どのようにリーディングやスピーキングの技術を習得させるか」など、日本語を教えるために必要な基礎スキルについて約1時間半の講義を行いました。マレーシアの中学・高校には日本語クラブが多数存在しており、同学友会では、「日本語学習や日本文化への興味関心が強い学生たちの力になりたい」という思いで精力的に活動を行っています。

3. まもなく米山月間資料が届きます (9/20 発送)

10月はいよいよ米山月間です。今年も米山月間用資料を全国の皆さまへお届けします。

毎年恒例の『豆辞典』は、米山記念奨学事業についての情報がほぼ網羅されている小冊子です。会員数分お送りしますので、ぜひ1人一冊お手元にお持ちください。豆辞典を使って米山奨学事業を説明するためのパワーポイントは、

9月13日に当会HPでも公開しました。そのほか「クラブ米山記念奨学委員長の手引き（寄付金マニュアル合併版）」「2022年度事業報告書」「2022年度決算報告」を送付します。追加資料のお申し込みは、同封の「追加資料申込書」に記入の上、お送りください。

4. 寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

前年同期比

+ 36.5%

普 - 2.6% 特 + 113.6%

8月までの寄付金は、前年同期と比べて36.5%増（普通寄付金:2.6%減、特別寄付金:113.6%増）、約1億670万円の増加となりました。当会は内閣府

より「公益財団法人」の認定を受けており、当会への寄付は所得税、法人税の税制優遇が受けられ、相続税も非課税となります。今年度からは、特別寄付金が新たに50万円に達した方へピンバッジ（銀色）を贈呈します。10月の米山月間も引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

5. モンゴルの地で感じた米山奨学事業の成果

先月5日に開催された米山学友による世界大会「再会 in 関東」では、多くの学友とロータリー会員が再会を喜びあう場面が見られました。今回は、モンゴルの地で学友と「再会」を果たした会員の話を紹介します。

7月1日、国際ロータリー第2680地区淡路三原RCの国際奉仕委員長を務める奥井正造会員が、モンゴル米山学友会のバグワ・ボヤンジャンルさん（2016-19/淡路三原RC）を訪ねるため、5人の会員と共にモンゴルを訪れました。

奥井会員とボヤンさんとの出会いは、同クラブが2016年に世話クラブとなったこと。当時、日本へ来た理由を尋ねると、「博士号を取得して保健師になりたい。モンゴル人は朝昼晩ずっとお肉を食べるため、中高年になると肥満になり、長生きできない。医療の力で生活習慣病を改善し、モンゴル人の平均寿命を5歳延ばしたい」とのこと。この志の高さに感銘

を受けた奥井会員やクラブ会員たちは、その時からずっと彼女を熱心に応援してきました。

そして今回、奥井会員はモンゴルでボヤンさんと再会。時間を忘れるほど話が弾んだそうです。招待されたボヤンさんの家では、お母さんがとても嬉しそうに出迎えてくれ、家族勢ぞろいで机いっぱいの料理が並び、盛大な会となったそうです。

帰国した奥井会員は、「私は、日本で自らの力を高め、自国の発展の力になりたいと志す奨学生を応援することが米山奨学事業の醍醐味だと考えています。その成果をモンゴルで見せてもらえました。学友会に入会し、日本との絆を保とうとしている学友たちの

健気さが心に響きました。そして、私たちロータリアンが思っている以上に、学友のご家族は米山奨学事業に感謝しているんだな、と感じました」と、ボヤンさんたちと過ごした時間を振り返りました。



ボヤンさん(後列左端)宅で歓迎を受けた奥井会員(中央左端)

Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023年10月号 No. 1

発行: Region 1, 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



感動探しのロータリー

第2地域

ロータリーコーディネーター補佐

辻

正敏

(津RC)

「ロータリーって知ってる?」、「うん、毎週平日の昼間に集まって美味しい御飯食べている人たちでしょ!」。「お金持ちで、時々どこかに寄付したりしている人たちでしょ」、「私たちとは関係ない人達よね」。このように言われている、また実際にこのような話を聞いた方がみえると思います。こんな風に話してみえる方々との違いは何なのでしょう。私たちもこの方たちも食事はします。しかし一般の方（この言い回しがそもそも物議を醸しますが）で、毎週お昼御飯をホテルやレストランで食べる方は少ないと思います。つまりロータリー会員のような人は全体から見れば少数です。普通の人たち（多様性が叫ばれる中、あえてこの表現を使いますがロータリー等に属している人以外を指しています）にとって、ホテルでの食事は日常ではありません。非日常です。昼間から集まって歌を歌うこともありません。

私が青年会議所に入会させていただいた時、国歌を歌い、JCソングを歌うことには最初馴染めなかったことを思い出します。「なんだこれ!」です。それがいつの間にか日常になりました。ですからロータリーに入会の時も別段変わったものとの認識はありませんでした。すべては慣れです。毎週同じクラブの会員と交流し、例会時間が終わった夜には出直してまた飲みに行く。楽しいです。これが日常になってしまいます。どんどん前述の普通の人たちとは離れていきます。その上、こちらの方が普通と思い出すかもしれません。つまり非日常的になってしまっている自分の過ごし方が日常なのです。

普通の方とは異なる視野、視座、視点でものを見ます。最も今まで知ることの無かったところを非日常的な目によって見えてしまうこともあります。ちょっと視野が広がった感じになりますが、見えなくても良いことかも知れません。しかしその見えなくても良かった部分が日常になってしまったら、もう普通の人、普通感覚ではなくなっているのではないのでしょうか。遠い国で食べ物が無くて泣いている子どものニュースに食料や物資を送る。とても崇高な気持ちです。ちょっと待って。日本にはそのような子供はいないのですかと言ったら、今、日本の子どもの貧困が問題だと言います。子どもの貧困への対応を目的として活動するロータリークラブもできています。普通の人たちが非日常と感ずる部分をロータリアンは知らず知らずのうちに日常としていることに気が付かないといけないのではと思います。ロータリーを理解して欲しい、公共イメージを向上させ、認知度を向上させたいと考えるなら、先ず自分を見つめ直し、普通の、普通の、普通に戻ってみることも必要なのではないでしょうか。そして、ロータリーで得た感覚を大切に、より幅の広い人となった時、新しい感動に出逢える機会が増えるのかも知れません。感動できるロータリーを退会する人はいないと思います。普通の自分に戻って、感動探しのロータリーで活動してはどうでしょう。

Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023年10月号 No. 2

発行: Region 1, 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



連呼の意義

第2地域

ロータリー公共イメージコーディネーター

神野 正博

(七尾RC)

国政選挙から地方議会議員選挙といかに民主主義のためとはいえ、毎年のようにお騒がせイベントがある。血沸き肉躍る御仁もいれば、「うるさい！」と顔を背ける御仁もいる。何がお騒がせかと言えば、小さな単位の選挙であればあるほど選挙カーという街宣車が、候補者名を拡声器でただただ連呼するからである。

本来、選挙では候補者の公約や政策に共感することで一票を投じるはずだ。名前を連呼する意味はあるのか。一方で、演説会ではなく、街中を疾風のように走る選挙カーで、政策は伝わるのか。。。連呼するの意味は、名前を知って欲しい、名前を入口として候補者自身に関心を寄せてほしいの一心なのだ。

そんな折、最近気になるテレビCMが増えてきた。それは、われわれ消費者の購買意欲を掻き立てるような従来型CMではないものだ。食品、化粧品、家電、日用品、衣類から車、住居などの消費財、さらには携帯キャリアや銀行などサービスを提供する企業などのCMは消費者に選んでもらうブランドを訴え、買うことによって得るであろう豊かな経験を訴える。これに対して、消費者が購入した品物の中に秘かに使われている素材を作る企業や道路・橋脚などの大型公共工事企業など消費者が直接発注することはない企業のCMがある。こういった企業が一般向けにCMを流す意義がどこにあるのだろうか。

例えば、カリスマ経営者、永守重信氏が率いるニデック（今年4月に日本電産より社名変更）のCMも人気女優を使って社名を連呼する。CMからは何を作っているのかわからない。私たちが日常使う携帯、デジカメ、車やロボットなどに搭載されている最先端の超小型モーターやセンサーを作る。私たちはこの会社名を知ることなく恩恵に浴している。

社名を連呼する意義は、選挙における候補者と同じく名前を知って欲しいのだろう。それは、直接注文を受けるのではなく、企業イメージの向上、社員の誇りやリクルートのためでなかろうか。人手不足の中で、自らのパートナーや子供たちが就職する企業が誰も知らないのでは不安だ。会社名こそが、ブランド資産であり、まずはそのブランドが誰もの目に留まり、口に上ることが重要だ。そのあと、関心を持った人間が、より深まって中身を知る。選挙の連呼による入口戦略と同じということになる。

日本には隠匿の精神があった。しかし、自らに誇りを持ち、そして仲間を増やすためには、自らの企業名を前面に出す入口戦略が重要な時代のようなのだ。ロータリーも然りである。会員が誇りを持ち、社会から関心を持ってもらうため、仲間を増やすためには、Rotaryを露出しよう、連呼しよう。

Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023年10月号 No. 3

発行: Region 1, 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



第3地域

ロータリー財団地域コーディネーター補佐

中野 均

(堺東RC)

第3地域ロータリー財団コーディネーター補佐を前任者四宮孝郎氏より引き継ぎを受けました中野均 (RID2640堺東RC) でございます。四宮氏とは、同期ガバナー (2019-20年度でございまして、四宮氏ほどの力量はございませんが、第3地域永田ロータリー財団地域コーディネーターの下、与えられた任務を全うしたく取組ませていただく所存でございます。

日本のロータリークラブ全てで取り組んでいます年次基金寄付ゼロクラブ「0」ですが、当地区において、ゼロクラブを発生させてしまいましたことを深くお詫び申し上げます。今年度こそ発生させないよう既にガバナーとともに行動しています。

日本のロータリーとして今年度も同様の取り組みがなされます。第3地域内ロータリークラブの皆さまには、前年と同様にご理解願ひ、なるべく早く寄付金の送金をしていただきますよう宜しくお願い申し上げます。なお、この地域には、3人の補佐がいます。私は、福井県を含む近畿地方4地区 (2640, 2650, 2660, 2680) を担当させていただきます。1年目の補佐ですが、担当地区内の皆さまにお役に立てるよう努力させていただきます。

ロータリー財団を取り巻く環境は、種々ございますが、このNEWSが発行される翌月10月は、24日が世界ポリオデーです。既にこの日に向けて効果的なイベントを計画されていることと思います。私たちロータリアンは、ポリオ根絶PRや募金活動をするにもポリオについて認識を正しく持ち、そして理解しなければなりません。その上で地域住民の方に理解して貰う活動をしていただくこととなります。期間は、この日のみにとらわれず、ある程度の期間を通じて活動することもあり、是非、行動を起こしてくださいようお願い申し上げます。

PRの方法として、SNSやYouTube他メディアを利用して実施されている地区やクラブもあり、可能な限りこのような方法で広報していただければ、ロータリークラブの認知度向上に繋がると信じています。また、場合により、ロータリー公共イメージコーディネーターのお力を借りることも良いのでは。と思う次第でございます。

ポリオ根絶が目前となりました。各地区・クラブのポリオ根絶に向けた活動をガバナー、地区財団委員長とともに実施して参りましょう。併せて活動報告も楽しみにしています。


国際ロータリー第2500地区 **新入会員の紹介**

第1分区 利尻島ロータリークラブ

なか が わら きよし
中川原 潔

■薬局経営
■1950年6月26日生 ■8月1日入会

地域の輝きは、そこに住んでいる人々がその地域をどれだけ愛せるかで決まる気がする。




第2分区 名寄ロータリークラブ

さ さ き のりあき
佐々木徳暁

■電気事業
■1965年5月30日生 ■8月8日入会

趣味は、登山、サイクリング、スキーです。名寄での生活を楽しみながら、クラブ活動を通じて微力ながら地域貢献できるよう努めています。




第2分区 中頓別ロータリークラブ

おおしま あきら
大島 朗

■教育行政
■1961年3月3日生 ■9月1日入会

幼小中一貫【中頓別学園】設立に向け邁進中です。無限大の可能性を秘めた子供たちをサポートしていきます！




第2分区 中頓別ロータリークラブ

ほしかわ みきお
星川三喜男

■酪農業
■1955年1月11日生 ■9月1日入会

酪農業の傍ら、町議会議員として7期目を迎え、議長としてさらに地域に貢献しようと思ひ参加しました。




第3分区 旭川西ロータリークラブ

やまもと ひでき
山本 英樹

■飲食サービス
■1978年5月9日生 ■8月1日入会

趣味は色々な所に食べ歩きする事とツーリングです。多種多様な事に興味があるので未知の体験が出来ればと思っています。どうぞよろしく願い致します。




第3分区 旭川北ロータリークラブ

かみ や のりあき
神谷 徳昭

■石材業
■1969年9月1日生 ■8月9日入会

温泉でのんびりするのが好きです。




第4分区 遠軽ロータリークラブ

かわむら じゅこう
川村 寿光

■仏教
■1957年10月19日生 ■8月17日入会

中湧別RCが終結し、遠軽RC様よりお声がけいただきました。感謝してRC会員を続けられます。




第4分区 滝上ロータリークラブ

きよはら なおひろ
清原 尚弘

■町長
■1973年8月9日生 ■8月2日入会

先輩ロータリアンと共に、奉仕活動に努めて参ります。宜しく願ひします。




第4分区 紋別ロータリークラブ

おの ひであき
小野 秀明

■損害保険
■1967年3月31日生 ■7月7日入会

3人の子の教育がやっと終わり、これからは地域社会に少しでも貢献出来ればと思ひ入会しました。よろしく願ひします。




第6分区 音更ロータリークラブ

わたなべ しんたろう
渡辺慎太郎

■看板業
■1980年1月17日生 ■8月2日入会

少々マニアックな看板屋です！よろしく願ひいたします。




第7分区 釧路ロータリークラブ

よしおか かずみ
吉岡 和美

■新聞発行
■1965年7月26日生 ■8月3日入会

20代の頃以来、釧路の街での仕事、暮らしを楽しみに参りました。ロータリーの皆様をはじめ、たくさんの方々のコミュニケーションを早く深めたいと思っております（ゴルフ・お酒の会も馳せ参じます）。何卒よろしく願ひ申し上げます。




第7分区 釧路ロータリークラブ

くわしま ようへい
桑嶋 洋平


■団体職員
■1967年1月18日生 ■8月31日入会

皆様こんにちは。平成3年に初任地として6年間過ごしたこの釧路に再び帰ってくる事ができました。妻も釧路出身、転勤族の私にとっても特別な土地です。皆様是非よろしく願ひいたします。



第7分区 釧路ロータリークラブ


たむらけんたろう
田村健太郎 ■銀行業
 ■1975年2月6日生 ■8月24日入会



道東地域で皆さまとご縁ができますこと、有難く感じております。経済調査などを通して、当地に微力ながら貢献していきたいと思っております。10年ほど前に、ドイツで勤務していた際に、自然に触れる楽しさを覚えました。道東の地で久しぶりに自然を満喫できること嬉しく思っています。趣味はサッカー、トレーニングなどのほか、映画や小説、音楽など文化系も好きです。家族は、妻、長男、長女です。よろしくお願ひします。

第8分区 根室西ロータリークラブ


やまべ ゆうた
山部 優太
 ■弁護士
 ■1984年10月21日生 ■7月20日入会



奉仕の精神のもと、地域や社会のために精進してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

第8分区 弟子屈ロータリークラブ

よしだ しんいち
吉田 信一
 ■金融業
 ■1973年7月31日生 ■7月5日入会



6月に転勤でお世話になることになりました。未だ道すらわかっていませんが、一生懸命頑張りたいと思ひます。

ロータリー財団寄付者報告

第1分区 礼文ロータリークラブ

礼文RC 14名 寄付月日 2023年8月7日
 寄付種類 年次基金-シェア

第1分区 礼文ロータリークラブ

礼文RC 14名 寄付月日 2023年8月7日
 寄付種類 ポリオプラス

第3分区 北海道2500ロータリークラブ

たかはし ひろあき
高橋 広昭 寄付月日 2023年8月10日
 寄付種類 AF-SHARE

第3分区 北海道2500ロータリークラブ

かんの みか
菅野 美加 寄付月日 2023年8月10日
 寄付種類 AF-SHARE

第3分区 北海道2500ロータリークラブ

とうどう まさよし
東堂 賢功 寄付月日 2023年8月10日
 寄付種類 AF-SHARE

第3分区 北海道2500ロータリークラブ

まるた じゅんいち
丸田 順一 寄付月日 2023年8月10日
 寄付種類 AF-SHARE

第3分区 北海道2500ロータリークラブ

とよた あきお
豊田 秋雄 寄付月日 2023年8月10日
 寄付種類 AF-SHARE

第6分区 帯広西ロータリークラブ

さいとう のりお
齊藤 憲生 寄付月日 2023年8月24日
 寄付種類 MPH+5

第6分区 帯広西ロータリークラブ

ふるた あつのり
古田 敦則 寄付月日 2023年8月24日
 寄付種類 MPH+5

第6分区 帯広西ロータリークラブ

ふかざわ ともひろ
深澤 知博 寄付月日 2023年8月24日
 寄付種類 MPH+3

第6分区 帯広西ロータリークラブ

ふじもと つよし
藤本 剛 寄付月日 2023年8月24日
 寄付種類 PHF

第6分区 帯広西ロータリークラブ

まつもと かずひこ
松本 和彦 寄付月日 2023年8月24日
 寄付種類 PHF

米山功労者報告

第6分区 帯広ロータリークラブ

おざわ まさひろ 寄付月日 2023年7月26日
小沢 昌博 米山功労者 12回 メジャードナー

第7分区 釧路南ロータリークラブ

ながい かずひろ 寄付月日 2023年8月30日
長井 一広 米山功労者 1回

物故会員

第3分区 旭川東ロータリークラブ



おおた えいじ
太田 英司 〈和風旅館〉
 2023年7月10日逝去 (享年77歳)

1987年10月入会
 2006年 会長
 2009年 地区幹事
 2016年 ガバナー補佐

2006年 ベネファクター
 2016年 MPH (3回目)
 2004年 米山功労者 (3回目)

第6分区 芽室ロータリークラブ



しらた まもる 〈自動車
部品販売〉
 2023年7月25日逝去 (享年75歳)

平成21年8月入会

第8分区 根室西ロータリークラブ



くらまた よしはる
倉又 良春 〈新聞発行〉
 2023年7月11日逝去 (享年92歳)

1973年9月入会
 1976年 幹事
 1985年 会長
 2000年 分区代理
 1990年
 ポール・ハリス・フェロー

ガバナー事務所からのお願い

皆さんのクラブの活動を月信で紹介しましょう。

新年度に入り、各クラブでは様々な事業が行われるようになってきました。その事業内容を、ガバナー月信で紹介させていただきます。

事業の概要、目的、成果などを、ガバナー事務所までお知らせください。出来れば、活動内容を伝えられるスナップを添えてください。



例会出席率及び会員数推移

2023年8月末報告

分 区	クラブ名	例 会 数	出 席 率 (%)	会 員 数					
				前月	当月	増減	女性 会員	入会	退会
1	礼 文	3	71	14	14	0	0	0	0
	利 尻	4	85	19	19	0	0	0	0
	利 尻 島	2	47	17	18	1	1	1	0
	天 塩	2	66.7	12	12	0	2	0	0
	豊 富	3	81.6	20	20	0	1	0	0
	稚 内	3	99.3	44	44	0	2	0	0
	稚 内 南	3	69.3	37	37	0	1	0	0
計			74.3	163	164	1	7	1	0
2	美 深	3	88.89	27	27	0	1	0	0
	枝 幸	5	64.5	25	25	0	0	0	0
	名 寄	4	65.8	54	55	1	2	1	0
	中 頓 別	3	91.6	12	12	0	0	0	0
	士 別	3	77.77	44	43	1	1	0	1
計			77.7	162	162	2	4	1	1
3	旭 川	3	71	64	65	1	3	1	0
	旭 川 東	4		28	28	0	0	0	0
	旭 川 北	4	73.74	44	45	1	0	1	0
	旭 川 南	2		25	25	0	0	0	0
	旭 川 西	3	82.98	44	45	1	5	1	0
	旭 川 東 北	3		15	15	0	1	0	0
	旭川モーニング	2		21	21	0	2	0	0
	旭 川 空 港	4	79.7	16	16	0	3	0	0
	美 瑛	3	64.4	30	29	1	0	0	1
	富 良 野	4	70.3	48	48	0	3	0	0
	上 川	3	60	10	10	0	0	0	0
2500REクラブ	3	87	19	19	0	3	0	0	
計			73.6	364	366	4	20	3	1
4	遠 軽	4	81.5	42	43	1	2	1	0
	紋 別	3	63.22	31	31	0	0	0	0
	紋 別 港	4	77	27	27	0	0	0	0
	興 部	3	75.55	15	15	0	0	0	0
	雄 武	4	75.1	14	14	0	0	0	0
	滝 上	4	76.7	14	15	1	1	1	0
計			74.8	143	145	2	3	2	0

分 区	クラブ名	例 会 数	出 席 率 (%)	会 員 数					
				前月	当月	増減	女性 会員	入会	退会
5	網 走	4	75.88	57	57	0	8	0	0
	網 走 西	3	77.78	48	47	1	0	0	1
	美 幌	4	88.5	53	53	0	6	0	0
	北 見	4	76.19	60	60	0	6	0	0
	北 見 東	3	72.5	40	40	0	2	0	0
	北 見 西	4	75.8	63	63	0	2	0	0
	清 里	3	76.6	30	30	0	0	0	0
	留 辺 藪		71.21	22	22	0	0	0	0
	斜 里	4	65.5	29	29	0	3	0	0
	計			75.6	402	401	1	27	0
6	足 寄	4	62.93	29	29	0	1	0	0
	広 尾	2	42.5	20	20	0	0	0	0
	上 士 幌	3	71	14	14	0	0	0	0
	芽 室	2	72.7	22	21	1	1	0	1
	帯 広	4	61.7	89	90	1	7	1	0
	帯 広 東	4	73.13	40	40	0	2	0	0
	帯 広 北	3	54.59	63	63	0	3	0	0
	帯 広 南	3	72.2	66	66	0	7	0	0
	帯 広 西	4	70.5	87	87	0	5	0	0
	音 更	3	69.04	41	42	1	5	1	0
清 水	4	65.1	18	18	0	2	0	0	
計			65.0	489	490	3	33	2	1
7	釧 路	4	43.3	98	102	4	0	4	0
	釧 路 東	4	68	33	32	1	0	0	1
	釧 路 北	3	79	105	105	0	11	0	0
	釧 路 南	2	71	28	28	0	1	0	0
	釧 路 西	2	72	27	27	0	4	0	0
	釧 路 ベイ	2	90.5	21	21	0	3	0	0
	音 別	4	75	16	16	0	0	0	0
白 糠	3	76.7	10	10	0	1	0	0	
計			71.9	338	341	5	20	4	1
8	厚 岸	3	78.6	13	13	0	0	0	0
	別 海	3	60	10	10	0	0	0	0
	浜 中	4	55	11	11	0	1	0	0
	中 標 津	3	42	35	36	1	3	1	0
	根 室	4	68.9	33	33	0	0	0	0
	根 室 西	5	83.4	49	49	0	1	0	0
	弟 子 屈	2	66.7	17	17	0	2	0	0
計			64.9	168	169	1	7	1	0
総 計			72.2	2,229	2,238	19	121	14	5

第2500地区 全65クラブ	前月末会員数	当月末会員数	増 減	平均出席率
	2,229人	2,238人	9人	72.2%
女性会員数	122人	121人	-1人	



オホーツク流氷公園 大波滑り台



2023-2024年度
国際ロータリー第2500地区

ガバナー事務所

〒094-0007 北海道紋別市落石町4丁目19-5

TEL / 0158-28-8280 FAX / 0158-28-8281

Mail / 2023-2024_governor-office@rid2500.jp

公式WEBサイト / <https://2023-2024.rid2500.jp/>

公式facebook / <https://facebook.com/rid2500/>

下記QRコードから
アクセスできます



WEBサイト



facebook